

文化財の活用について



高久 一伸

質問

日本遺産認定
「那須野が原開拓」活用は

町 近隣3市と連携して事業を推進

問 「那須野が原開拓」（以降「開拓」と略す）をどのように活用するのか。

答 本年5月、「開拓」浪漫譚が日本遺産に認定された。これを受けて、観光振興及び地域活性化を推進する各種事業を展開するため、6月に町を含めた近隣4市町で「開拓」日本遺産活用推進協議会を設立した。この協議会を事業主体として、本年度からの3年間、国の補助金を活用しながら、4市町が連携して情報発信・人材育成・普及啓発等の事業を推進していく。

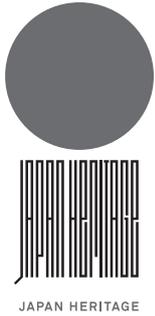
問 日本遺産魅力発信推進事業を中心的に推進する人材を確保する考えは。

答 この事業を推進後、さらに付加価値を高める事業展開、人材育成、人員体制を検討している。現在、学芸員を再募集しているが応募がない。学芸員を採用して、日本遺産認定の関連施設である山田資料館も含めて、町の文化遺産の活用に取り組んでいきたい。

問 この事業を推進後、さらに付加価値を高める事業展開、人材育成、人員体制を検討している。現在、学芸員を再募集しているが応募がない。学芸員を採用して、日本遺産認定の関連施設である山田資料館も含めて、町の文化遺産の活用に取り組んでいきたい。

答 ※1 那須野が原開拓浪漫譚Ⅱ本町、那須塩原市、大田原市、矢板市と共同で「日本遺産認定推進協議会」を設置し、「明治期の華族農場を中心とする那須野が原開拓の歴史」をストーリーとしてまとめ、本年2月に文化庁に申請。

問 日本遺産認定ロゴマーク



JAPAN HERITAGE

日本遺産

日本遺産認定ロゴマーク

産業の振興について

質問

中小企業者等に実効性ある
施策は

町 産学連携に積極的な取り組みをしたい

問 事業承継を円滑に進めるため、経営者の確保を支援する考えは。

答 町商工会が中心となって各事業所における事業承継支援を実施している。また、経済産業省により設置されている県事業引継ぎ支援センターでは、無償でコーディネートや各種相談を行っている。町としては、今後もこれらの関係機関と連携しながら、町内中小企業、小規模企業の円滑な事業承継に取り組んでいきたい。

問 新しい事業の創出、創業や起業の支援も視野に入れて、大学など高等教育研究機関との連携を図る考えは。

答 先頃プレミアムフライデーにあわせて宵の市が黒田原で行われた。都内の私立大学と地元の方が協力しながらまちづくりを行っている。若い力を黒田原のまちづくりに生かして、非常に好評ということを聞いている。今後そのような産学連携の機会があれば、ぜひ積極的に取り組んでいきたい。

町商工会館(黒田原駅前)



町商工会館(黒田原駅前)